

詩篇145篇

ダビデの賛美

《世々限りない賛美》

- 1 私の神、王よ。私はあなたをあがめます。あなたの御名を世々限りなく、ほめたたえます。
- 2 日ごとにあなたをほめたたえ、あなたの御名を世々限りなく賛美します。
- 3 主は大いなる方。大いに賛美されるべき方。その偉大さを測り知ることができません。
- 4 代は代へと、あなたのみわざをほめ歌い、あなたの大能のわざを告げ知らせるでしょう。
- 5 私は栄光輝くあなたの主権と、あなたの奇しいわざに思いを潜めます。
- 6 人々はあなたの恐ろしいみわざの力を語り、私はあなたの偉大さを述べるでしょう。
- 7 人々はあなたの豊かないつくしみの思い出を熱心に語り、あなたの義を高らかに歌うでしょう。

《全被造物による賛美》

- 8 主は情け深く、あわれみ深く、怒るのにおそく、恵みに富んでおられます。
- 9 主はすべてのものにいつくしみ深く、そのあわれみは、造られたすべてのものの上にあります。
- 10 主よ。あなたの造られたすべてのものは、あなたに感謝し、あなたの聖徒はあなたをほめたたえます。
- 11 彼らはあなたの王国の栄光を告げ、あなたの大能のわざを、語るでしょう。
- 12 こうして人の子らに、主の大能のわざと、主の王国の輝かしい栄光を、知らせましょう。
- 13 あなたの王国は、永遠にわたる王国。あなたの統治は、代々限りなく続きます。
- 14 主は倒れる者をみなささえ、かがんでいる者をみな起こされます。
- 15 すべての目は、あなたを待ち望んでいます。あなたは時にかなって、彼らに食物を与えられます。
- 16 あなたは御手を開き、すべての生けるものの願いを満たされます。

《呼び求める者に近くまします神》

- 17 主はご自分のすべての道において正しく、またすべてのみわざにおいて恵み深い。
- 18 主を呼び求める者すべて、まことをもって主を呼び求める者すべてに主は近くあられる。
- 19 また主を恐れる者の願いをかなえ、彼らの叫びを聞いて、救われる。
- 20 すべて主を愛する者は主が守られる。しかし、悪者はすべて滅ぼされる。
- 21 私の口が主の誉れを語り、すべて肉なる者が聖なる御名を世々限りなくほめたたえますように。

138篇から続いてきた「ダビデ詩篇」の最終詩になります。所々に登場する「いろは歌」の一つで、各節の頭にヘブル語アルファベットが順々に並べられています。一つ気になるのが、「ヌーン」が抜けていることですが(13節と14節の間)、これはおそらく何らかの理由で欠落したのでしょう。クムラン写本¹では「ヌーン」を伴う行が存在し、七十人訳聖書やシリア語訳では「主はそのすべてのことばに真実で、そのすべての御業に聖い」という一文が加えられています。

¹ 1947年に死海の北西部にあるクムラン洞窟で見つかった972の旧約聖書と古代ユダヤ教関連文書の写本群。その中の「11QPs^a」という文書。

תהלה לדוד

אַרְמִיָּה אֱלֹהֵי הַמֶּלֶךְ וְאַבְרָכָה שְׁמֶךָ לְעוֹלָם וָעֶד:
 בְּכָל־יּוֹם אֲבָרְכֶךָ וְאַהֲלִילָה שְׁמֶךָ לְעוֹלָם וָעֶד:
 גְּדוֹל יְהוָה וּמְהִלָּל מְאֹד וְלִגְדֻלְתּוֹ אֵין חֶקֶר:
 דָּוָר לְדָוָר יִשְׂבַּח מַעֲשֵׂיךָ וּגְבוּרָתֶיךָ נְגִידוֹ:
 הַדָּר כְּבוֹד הַדָּר וְדַבְּרֵי נִפְלְאוֹתֶיךָ אֲשִׁיחָה:
 וְעֲזוֹז נִוְרָאֵתֶיךָ יֹאמְרוּ וּגְדוּלְתֶיךָ אֲסַפְּרֶנָּה:
 זָכָר רַב־טוֹבֶיךָ נִבְיָעוּ וְצִדְקָתֶיךָ יִרְנְנוּ:
 חֲנוּן וְרַחוּם יְהוָה אֲרָךְ אַפִּים וּגְדֻלַּת־חֶסֶד:
 טוֹב־יְהוָה לְכֹל וְרַחֲמָיו עַל־כָּל־מַעֲשָׂיו:
 יוֹדוּךָ יְהוָה כָּל־מַעֲשֵׂיךָ וְחִסְדֵיךָ יִבְרַכּוּכָה:
 כְּבוֹד מַלְכוּתֶיךָ יֹאמְרוּ וּגְבוּרָתֶיךָ יִדְבְּרוּ:
 לְהוֹדִיעַ לְבָנֵי הָאָדָם גְּבוּרָתִי וְכְבוֹד הַדָּר מַלְכוּתוֹ:
 מַלְכוּתֶיךָ מַלְכוּת כָּל־עֲלָמִים וּמִמְשָׁלְתֶיךָ בְּכָל־דְּוָרְדוֹר:
 סוֹמֵךְ יְהוָה לְכָל־הַנְּפֹלִים וְזוֹקֵף לְכָל־הַכְּפוּפִים:
 עֵינַי־כֹּל אֵלֶיךָ יִשְׁבְּרוּ וְאַתָּה גּוֹתֵן־לָהֶם אֶת־אֲכָלָם בְּעֵתוֹ:
 פּוֹתֵם אֶת־יָדֶיךָ וּמִשְׁבִּיעַ לְכָל־חַי רְצוֹן:
 צַדִּיק יְהוָה בְּכָל־דְּרָכָיו וְחִסִּיד בְּכָל־מַעֲשָׂיו:
 קְרוֹב יְהוָה לְכָל־קִרְאָיו לְכֹל אֲשֶׁר יִקְרָאֶה וּבְאֵמֶת:
 רְצוֹן־יִרְאָיו יַעֲשֶׂה וְאַת־שׁוֹעֲתָם יִשְׁמַע וַיּוֹשִׁיעֵם:
 שׁוֹמֵר יְהוָה אֶת־כָּל־אֲהַבָּיו וְאֵת כָּל־הַרְשָׁעִים יִשְׁמִיד:
 תְּהִלַּת יְהוָה יִדְבַּר־פִּי וַיִּבְרַךְ כָּל־בְּשָׂר שֶׁם קְדֻשׁוֹ לְעוֹלָם וָעֶד:

まず1～3節では、詩人自身が「世々限りない賛美」を神にささげています。「世々限りなく」（1節、2節）と訳されているところの原文は「לְעוֹלָם וָעֶד／レオーラーム・ヴァエード」で、英語では「for ever and ever」と訳されます。「賛美されるべき方」（3節）にいつまでも栄光を帰することを誓っているのです。すなわち、詩人は自らを「永遠の礼拝者」とし、神を神とする人生を全うしようと言えるでしょう。

4～7節では視野が大きく広げられ、「人々」（6節、7節）の賛美の一部に詩人の賛美が位置づけられています。「代は代へと」（4節）は「世代」を意味することばで、彼が生きていた時代の人々と一つになって賛美をささげているイメージでしょう。「あなたのみわざ」「大能のわざ」「あなたの主権」「奇しいわざ」「恐ろしいみわざ」「あなたの偉大さ」ということばを拾い集めてみると、神が行なわれた御業の数々が思い起こされていることが分かります。天地創造から救済の歴史を通して現されてきた神の御業の全体が語られているのでしょ。しかし同時に、「人々はあなたの豊かないくしみの思い出を熱心に語り、あなたの義を高らかに歌う」（7節）と、神の憐れみ深さにこそ焦点が置かれていて、この主題は8節以下で豊かに展開されていきます。

8～9節の聖句は、「**あなたの栄光を私に見せてください**」（出33:18）と願ったモーセに対して示された神からの応答の内容を反映しています。

主、主は、あわれみ深く、情け深い神、怒るのにおそく、恵みとまことに富み、恵みを千代も保ち、咎とそむきと罪を赦す者、罰すべき者は必ず罰して報いる者。父の咎は子に、子の子に、三代に、四代に。（出34:6-7）

ここでは主なる神様の性質、私たちが信じる神がどのようなお方であるかが要約されています²。神の憐れみ深い性質は全被造物（**造られたすべてのもの**）に向けられている。では、神はどのような意味で憐れみ深いのか。その内容が14～20節で説明されています。ここで描かれている神は、「**かがんでいる者をみな起こされる方**」（14節）、「**食物を与える方**」（15節）、「**すべての生けるものの願いを満たされる方**」（16節）、「**呼び求める者すべてに…近くあられる方**」（18節）、「**主を恐れる者の願いをかなえ、彼らの叫びを聞いて、救われる方**」（19節）であることが分かります。「**主を愛する者**」（20節）との人格的な関係を求め、その生活の必要を常に満たそうとしておられるのです。神の憐れみは、「**罪の赦し**」「**生活の満たし**」「**危険からの守り**」という側面において現れます。

10～13節に戻ると、ここでは「**統治者としての神**」に焦点が当てられていて、この地上を究極的に治めておられるのは主なる神様であることが宣言されています。「**あなたの王国**」（11節、13節）、「**主の王国**」（12節）、「**永遠にわたる王国**」（13節）と、詩人の目には世界の統治者の姿が見えていたのです。為政者たちは神より権限が委託され、正しく世を治める責任があります。あくまでも「**神の王国**」の管理者として、へりくだって神と人に仕えるべきでしょう。自分の上に立つ方を認識するとき、人はその心の傲慢を捨て去り、自分が何者でもないことを知るようになるのです。

21節は「**結びの頌栄**」です。ここでも「**世々限りなく**」神を賛美し、「**すべて肉なる者**」が神を神として認めることを求めています。私たちがへりくだった心で主を礼拝する生涯を全うしたいと思います。

² この聖句は旧約聖書の随所で引用されています。

民数14:18、ネヘミヤ9:17、詩篇86:5、103:8、111:4、112:4、ヨエル2:13、ヨナ4:2